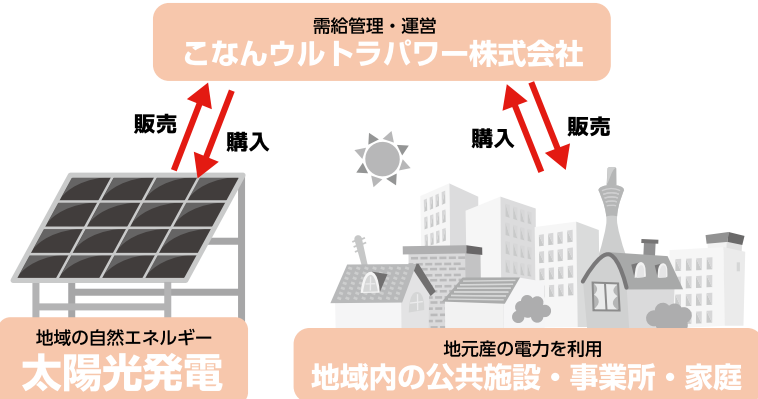


自然エネルギーで地域を元気に!

地元の電力を地域内で利用することで、資金が循環します



こなんウルトラパワー株式会社は、一般の家庭や商店・事務所などに低圧電気の販売を開始しました。月の使用量が350kWh以上の家庭や500kWh以上使う店舗や事業所にはお得なプランです。

こなんウルトラパワー
お申し込みはWEBで
<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは
☎0120・326・230
午前9時～午後7時(日曜・祝日を除く)

コナン市民共同発電所 4月の発電結果

初号機 発電量: **2,575kWh**
パンパン発電所 売電額: **113,300円**
設備容量 20.8kW

一般家庭 約8軒分

貳号機 発電量: **12,690kWh**
甲陸発電所 売電額: **558,360円**
設備容量 105.6kW

一般家庭 約42軒分

参号機 発電量: **1,871kWh**
十二坊温泉 売電額: **65,859円**
ゆらち発電所 設備容量 16.3kW

一般家庭 約6軒分

四号機 発電量: **3,335kWh**
柑子袋まちづくり 売電額: **117,392円**
センター発電所 設備容量 23.6kW

一般家庭 約11軒分

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

新型コロナウイルス流行に伴う都道府県境を越える移動制限も先月19日に緩和され、徐々に日常生活に復しつつありますが、その前日には、26日ぶりに県内で感染者が確認されました。ウイルスは根絶されたわけではありませんので、熱中症に気をつけながらのマスク着用や手洗い、咳エチケット、換気など、引き続き感染防止に努めてください。

23日に開会した市議会6月定例会では、小中学校給食費の6、7月分無料化、未就学児に生活支援助成金(1万円)支給、下水道使用料基本料金4か月無料化、4月28日以降出生児に特別定額給付金と同額の子ども未来助成金(10万円)支給、ひとり親世帯への臨時給付金支給(国)などが決定されました。

今後は、国や市の支援措置が途絶えたときに、個別に相談を受けたり支援をできる体制の構築について早急な準備に取りかかっています。特別定額給付金の迅速な支給と同じ

ように、次の状況を予測しながら先手を打って検討を重ねていきます。

その一方で、こうした新型コロナウイルス対策を最優先させるために、市役所東庁舎の建て替えについては、その着工時期の決定を先送りすることとしました。市長、副市長、教育長のポータスカットや議員の政務活動費、行政視察経費減額など、議会と一体となって財源確保にも努めてまいります。

ところで、ウイルスがまん延しているときに災害が起きると、避難所が密になってしまいます。先月14日には王子コンテナ株式会社のご協力を得て、密にしないダンボール避難所の設営訓練を行いました。

また、19日には湖南市産業振興戦略推進会議から「湖南市産業振興ビジョン案」の答申を受けました。「湖南市型産業モデルの創出」など意欲的な提案をいただきましたが、アフターコロナにおいて湖南市がめざす社会についての提言もありました。未来都市湖南市に向けて、経済の反攻勢にも取りかかります。

その翌日、元県議会議員の青木善政氏が逝去されたとの訃報に接しました。裸一貫から甲西陸運株式会社を立ち上げられ、本市の経済界をリードしてこられただけに、これからというときに残念でなりません。心からご冥福をお祈りします。

谷畑市長の
まちづくり
最前線レポート
No.161